



— 卯野(うの)修三 議員活動報告 —

秋も足早に過ぎ、間もなく冬の到来となります。2期目に入りスローガンにも掲げた「暮らしやすさ日本一を実感できる町」を目指し議員活動を展開してまいります。

「勇気・元気・やる気」+「根気・突破力」

能美市議会議員 卯野 修三



- ◆令和3年6月6日 寺井高校男子 春季ハンドボール大会準決勝応援 (於:小松市総合体育館)
- ◆令和3年9月26日 寺井町防災訓練 防災士として参加
- ◆令和3年3月~5月 市内の宮竹用水・鍋谷川・八丁川・西川・竹藪用水など用水めぐりをし水の大切さを確認した。月刊誌「加能人」6月号にエッセイが掲載された。

卯野修三のfacebookに掲載されています。ご登録のうえご覧ください。



【大衆食堂】 【ラーメン】 【イタリアン】 【寿司】
◆令和3年3月~8月 能美市内外のみなさまに、市内の飲食店をPRしたく、市内の60余の飲食店のランチ(昼飯)めぐりをしたところ、コロナ禍のなか頑張っている姿に感銘をうけた。



国連のSDGs (持続可能な開発目標)とは
SDGsは、2030年までに「誰ひとり取り残さない」社会の実現を目指し持続可能な世界の達成を目指す17の目標と、それを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。さて、UNWTO (国連世界観光機関)でも、SDGsに取り組んでいます。
(参考HP) unwto-ap.org 観光と持続可能な開発目標 www.tourism.jp SDGs達成に向けた旅行観光の役割りなどクリックしてみてください。

私自身、能美市としてSDGsに関連した観光の役割を下記の現地視察を通じて考えてまいります。



◆令和3年8月~ 2024年春の北陸新幹線全線開業での誘客を目指し、23ある能美市史跡名勝天然記念物を巡り、看板・設備面などを確認しています。

尚、能美市が作成した「能美市大図鑑 (nomishizukan.com)」をクリックすると、「能美の飲食店」がたくさん登場します。

令和3年6月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 6月16日 (市執行部の役職名、氏名は令和3年6月1日現在です)

- 質問** ◆市民への広報・広聴手段の現状と今後について◆
①全戸に配布されている「広報のみ」のモニター制度導入の予定は？ 閲読率を上げるための工夫は？
- 答え** 企画振興部 中出部長
平成19年~22年にかけてモニター制度を設けたが、近年は市ホームページの問い合わせフォームや庁舎窓口で直に意見・提言を承り改善を図っている。また、表紙に今月のトピックスを掲載したり部分的にQRコードを設置し、より深くわかりやすく見やすい紙面づくりに取り組み、「広報のみ」を読んでみたいという構成になるよう工夫し閲読率を上げていきたい。
- 質問** ②ケーブルテレビの普及が進めば、「のみチャンネル」を活用した小中学校の自宅学習や高齢者向けの教室などが可能になると考えるが、現在の普及率と今後の普及拡大は？
- 答え** 企画振興部 中出部長
平成19年度は4,150世帯、令和2年度は6,600世帯となり加入率は35%。ケーブルテレビという媒体は災害など緊急時にも早く正確に伝えられるので、今後、テレビ小松と連携を強化し加入の増加に結びつくよう努力していきたい。
- 質問** ③市ホームページの閲覧数の推移は？ フェイスブックの発信は？
- 答え** 企画振興部 中出部長
平成31年4月に市ホームページをリニューアルした。閲覧数(アクセス数)は平成30年度196万件、令和元年度231万件、令和2年度290万件と順調に伸び、特に新型コロナ関連、のみバス、ごみリサイクルのアクセスが上位を占めた。フェイスブックは200件発信。SNS対応に力を入れたい。
- 質問** ④市民からの意見・提言の公開および活用方法をどのように考えるか？
- 答え** 井出敏朗 市長
平成29年の市長就任以来、市民ファースト、現地現場主義をベースに取り組んでいるが、その礎となるのが市民から直接、意見・提言を聴け、また市の施策を伝えられる「タウンミーティング」で様々な団体と開催をして予算化した事案も数多くあります。尚、これまでのタウンミーティングの会議録は、すべて市ホームページにて公開しているので今後は更に工夫して公開していきたい。
- ◆マイクロツーリズム(近場観光)について◆
質問 ①能美市の資源・遺産を活かして、金沢市が本年作成した観光デジタルマップの作成を含め、電動自転車&のみバスでの観光など「ふるさと愛醸成」を含めたマイクロツーリズムについての考え方は？
- 答え** 産業交流部 谷田部長
2025年の能美市誕生20周年に向け、レンタサイクル・のみバス・健康ロードを活用した市内の回遊性の更なる向上を図り、本年スタートした観光資源のサイト「能美市大図鑑」の充実並びに目的地に辿りつけるナビ機能サイトの整備を図ると同時に、マイクロツーリズムについては、能美市を訪れた方々に感動を提供できるよう、市の魅力を伝えられる人材の育成にも力を入れ、「ふるさと愛」を醸成していきたい。
(裏面もご覧くださいませ)

質問

②本年度から採用した「地域活性化起業人交流プログラム事業」についてどのような計画で取り組むのか？
また能美市における「着地型観光」の基本的な考え方は？

答え

産業交流部 谷田部長

国指定史跡・能美古墳群をテーマとした素材の検討や全方位でなくターゲットを決めた九谷焼制作体験やスポーツ合宿など教育旅行の誘致も検討していて、旅行会社・出版社への発信をしていきたい。

「着地型観光」とは旅行者の受け入れ先で開発されるプログラムのことで、今回は地域の方々の協力をいただき、人々とのつながりを大切にして、訪れる方々の心を魅了できるプランニングを企画していきたい。

質問

◆九谷陶芸村の発信について◆

2024年春に北陸新幹線県内全線開業(予定)に向けて、九谷陶芸村の施設(九谷焼美術館・卸団地・県九谷焼技術研修所など)を現状以上に連携し、村として組織化し、市の担当部署のサテライト・ブランチ(支店)を設置し、九谷陶芸村の発信をしてはどうか？



答え

産業交流部 谷田部長

九谷陶芸村活性化事業として今回ハード面の陶芸館改修と同時に、ソフト面として陶芸村内の施設の回遊性を向上させることを主眼に、今後の構想を策定する会を立ち上げた。また陶芸村内での観光案内所や物産の販売については、職員が常駐している九谷焼美術館で対応していきたい。

令和3年9月 議会・定例会 一般質問 一問一答形式 9月2日 (市執行部の役職名、氏名は令和3年9月1日現在です)

質問

◆野生動物対策の窓口一本化◆

近年、能美市内で増加傾向にある①アライグマ・②ハクビシン・タヌキなどの野生動物対策の窓口の分かりづらさを解消するため、窓口を一本化できないか？

答え

産業交流部 谷田部長

現在①の特定外来生物は生活環境課、②は農林課、③ニホンカモシカなどはまなび文化課と窓口が分かれているが、市民が迷わないためにも窓口は農林課に統一し、現場対応はそれぞれの課が連携して取り組みたい。

質問

◆空き家対策◆

平成30年の調査で能美市内には空き家が467件あり、平成26年に能美市は空き家バンク登録制度を創設し、改修・清掃・解体の補助制度はあるが、本制度活用は微増に留まっていて税問題、相続問題など複合的な課題もあるが、その空き家問題を解決するための「相談室」の開設と空き家対策の更なる周知手段についてどう考えるか？

答え

土木部 吉田部長

まち整備課内に、空き家・空き地のサポートデスクの設置を検討したい。また空き家対策の周知については、市内の郵便局と包括連携協定を結び推進していきたい。

広報紙ならびにケーブルテレビでの空き家対策の動画配信も検討していきたい。

質問

◆寺井高校◆

5年連続、志願者の定員割れが続く寺井高校への支援として能美市内の様々な団体の方々や高校関係者による「これからの寺井高校を考える会」などの協議会は設置できないか？

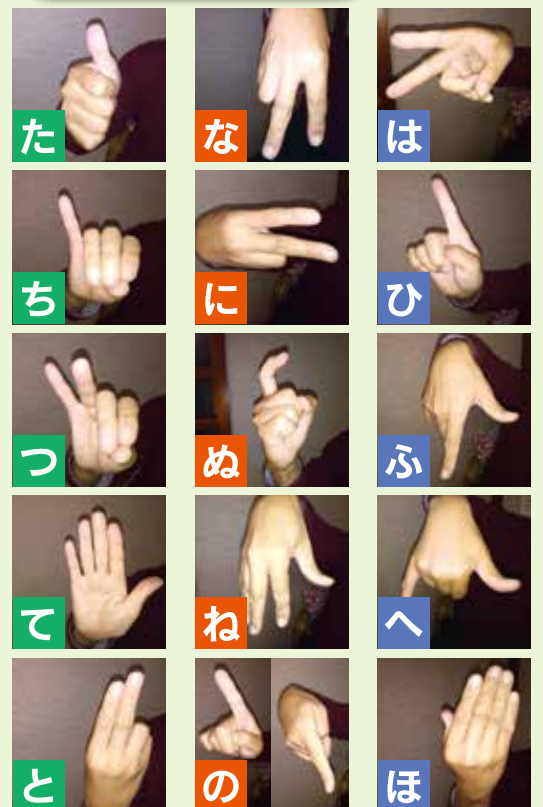
答え

井出敏朗 市長

高校自ら、地域と連携するスーパーコミュニティハイスクール(SCH)を掲げ、多岐にわたり取り組んでおられ、市の発展にも貢献してもらっていて、昨年はスポーツ・進学面でも結果が出始めている。協議会の設置については、平成17年に保護者・同窓生・学校関係者で構成されている「教育振興会」が主体となって協議してほしい。市としては、県教育委員会の方針をあおぎ地元自治体として、より一層工夫を凝らし取り組んでいきたい。



手話の五十音の指文字です



(第7号で、あ行～さ行まで記載しました)
(2018年度、2019年度、能美市の手話講座を受講)

9月議会一般質問の最後に、
4年間の議員生活を振り返り所感を述べた。

「悲観主義者は、あらゆる機会(チャンス)の中に問題を見出す。
但し、楽観主義者は、あらゆる問題の中に機会(チャンス)を見出す。」

ウイストン・チャーチル(英国の政治家)

私は、どんな苦境の中にも可能性は残っていると信じ、変化をおそれず挑戦していきたい。

能美市議会議員 卯野 修三

〒923-1121 石川県能美市寺井町ラ16
TEL (0761) 58-5811 FAX (0761) 58-5812



メルアド uno8656@tvk.ne.jp
http://www.tvk.ne.jp/~uno0905/

うの修三 検索 f 卯野修三

